

諏訪圏自然エネルギー普及モデル事業

1. 事業の目的

本事業は、諏訪圏域をモデルとして、自然エネルギーの地産地消により圏域内でのエネルギー自給率をどの程度高めることができるかを実地で検証し、地域住民による自然エネルギーの有効利用を普及、促進し、地域の自立性を高めることを目的としている。その第一フェーズとして、現在諏訪圏域内で活動している自然エネルギー活用団体の連合体的組織として「信州ネットSUWA」を立ち上げた（平成23年11月1日）。

そこで、設立した「信州ネットSUWA」の組織を基礎にして、自然エネルギー活用を目指す諸団体と関係自治体を一同に集めることのできるプラットフォームを設置、情報の共有、地域への自然エネルギー活用の普及、拡大を目的とする体制（諏訪圏自然エネルギー普及モデル）を構築し、ホームページの活用による、自然エネルギー普及モデルを作成することが本事業の目的である。

2. 事業の準備状況と計画

<第一フェーズ：準備状況>

1. 自然エネルギー地域協議会として「信州ネットSUWA」を設立

平成23年7月26日の自然エネルギー学習会を出発点として、信州ネット設立後直ちに諏訪地域に地域協議会を設立するための準備に入った。3～4回の準備会開催後、設立総会の11月4日開催を目指して行動を開始、「信州ネットSUWA」を設立した。

2. 自然エネルギー普及のためのイベントとして、設立総会に併せて自然エネルギー活用普及を目的として公開講演会（飯田哲也氏）、ライブ（MEGAMI MUSIC）を企画、実施し、多数の住民の参加を得た。

3. 「信州ネットSUWA」設立後は運営委員会（月1回開催）を中心に参加会員のメーリング・ネットを作成、会員内での情報共有を積極的に行える体制を構築した（メール非保持会員にはFAX、手紙で連絡）。運営委員会は月1回の頻度で開催し、会員相互並びに関係自治体との情報交換が円滑に行える体制が整った。

<第二フェーズ：自然エネルギー普及モデル事業>

1. 「信州ネットSUWA」のネットワークを活用し、会員が所属する団体を中心として地域で行っている自然エネルギー普及事業の紹介・連絡・調整を行い、地域内での情報の共有を促進するために交流会を企画、開催する。第1回交流会は平成24年1月に予定している。

さらに、各団体、個人の自然エネルギーに関わる情報共有と活動の普及を目指して講演とポスター発表による公開交流会を企画、開催（平成24年2月を予定）し、地域に開かれた情報ネットワークを形成する。

2. ネットワーク型地域協議会を設立後、地域に自然エネルギー普及を広げることが意図して「信州ネットSUWA」にホームページを立ち上げる。

3. 諏訪地域の自然エネルギー普及・具体化のために、長野県及び6自治体の関係部局、並びに地域の大学・研究機関と「信州ネットSUWA」が会合する「自然エネルギー普及プラットフォーム」を設置し、地域の自然エネルギー計画を協議、具体的な提案に向けて活動する。

4. 自然エネルギー有効利用普及のための公開講演会、展示、エネルギー・カフェ（相談コーナー）を信州ネットと協働して開催する（平成24年3月を予定）。

5. 以上の成果を元にして、地域への自然エネルギー普及活動が適切、かつ計画的に行い得る地域統合型自然エネルギー普及モデルを構築、提案する。

<諏訪地域で当面取り上げ得る具体的事例>

* 公共施設未利用空間（諏訪地域流域下水道終末処理場、他）への太陽光パネルの設置（具体化に向けて関係部局と協議中：諏訪湖クラブ）

* 地元企業社屋、工場等への太陽光パネルの設置（諏訪商工会議所プロジェクトで基礎調査はすでに終わっている：諏訪市商工会議所）

* 諏訪地域6市町村の新エネルギーヴィジョン調査結果の活用、具体化（6市町村の報告書が既にある）

* メガソーラー候補地の利用、活用法の検討（6市町村）

* 自然エネルギーの高付加価値農業への適用と具体化（実験はすでに終了：光変換光合成促進農法）

* カラマツストープによるバイオマス活用の普及、広域化（実用・活動中：カラマツストープ普及LLP）

* 用水路、小河川、釜口水門並びに上水道減圧手法への小水力技術の活用

* 温泉熱の有効利用（技術的調査はほぼ終了している：諏訪湖クラブ）

* 自然エネルギー地産地消意識の普及・向上への広報手法の実践（光合成ライブ：MEGAMI MUSIC）

<上記具体化への共通的検討課題>

* 初期投資資金の調達手法（信州ネットと連携が必要）

* 具体化への法的障壁への対処（プラットフォームの活用、信州ネット専門部会の成果を期待）

2. 運営組織体制

1) 「信州ネットSUWA」の運営委員会の中に「諏訪圏自然エネルギー普及モデル事業」担当運営委員（宮坂平馬）を設ける。

2) 「信州ネットSUWA」事務局とモデル事業担当運営委員を中心にして事

業を運営、会員との情報交換、連絡を密にして事業を展開する。

3) 「信州ネット SUWA」からの情報の発信は、「ホームページ」担当運営委員（葦木美咲）、「講演・イベント企画」担当運営委員（未定）が事務局と連携しながら企画、運営し、自然エネルギー普及に努める。

4) 諏訪圏の 6 自治体関係部局との連携は、すでにできている長野県地方事務所と 6 市町村関係部局とのネットワークを利用し、「信州ネット SUWA」の運営委員長、担当運営委員並びに事務局が呼びかけ、具体的な事業課題が会員から提案された場合には関係団体（個人）の企画が実現できる方向への支援を行う。

5) 上記行動は常に「信州ネット SUWA」運営委員会内で協議、合意の上、実行し、ネットを通して会員に周知、関係会員の参加の下で行う。

6) 平成 23 年度「信州ネット SUWA」の運営そのものが普及モデル事業のケーススタディーに当たる、という意識で、円滑な運営を心がけ、次年度以降の「信州ネット SUWA」の実務的活動へつなげていく。

3. 平成 23 年度予算計画

[収入]

「信州ネット」からの助成金（希望）	330,000 円
会費からの補填	90,000 円
合 計	420, 000 円

[支出]

普及パンフレット作成費、資料作成費等	25, 000 円
実行委員会、講演会、交流会会場費	85, 000 円
講演会謝金・交通費	100, 000 円
人件費（100 時間・人 x800 円）	80, 000 円
ホームページ立ち上げ費用	80, 000 円
消耗品、その他雑費	50, 000 円
総 計	420, 000 円